

わが国の通常学校におけるスヌーズレン教育の導入と可能性

—小学校特別支援学級・通級指導教室でのスヌーズレンの授業の実践紹介を通して—

企画者	姉崎 弘	(常葉大学教育学部)
司会者	井上 和久	(大和大学教育学部)
話題提供者	姉崎 弘	(常葉大学教育学部)
	東 法子	(兵庫県赤穂市立塩屋小学校)
	甲斐 光幸	(山口県三笠産業株式会社)
	藤澤 憲	(和歌山県立和歌山さくら支援学校)
指定討論者	北野真奈美	(関西学研医療福祉学院)
	伊達 隆	(三重県松阪市教育委員会)

KEY WORDS: スヌーズレン教育、スヌーズレンの授業、特別支援学級、通級指導教室、発達障がい・情緒障がい

【企画趣旨】

今日、わが国の学校教育においては、特に肢体不自由特別支援学校に在籍する重度・重複障がい児を中心にスヌーズレンが授業として実施され、その効果や可能性等が報告されている。また海外の先行文献によると、1980年代頃から、認知症や発達障がい、情緒障がい等にもスヌーズレンが適用されている。しかし学校教育におけるスヌーズレンの実践報告や実践研究は比較的少ないのが現状である。

わが国では、共生社会を目指すインクルーシブ教育を今後推進していくためにも、通常学校に在籍する児童生徒一人一人が自分の学級に居場所があり、楽しく学習や生活が送れる学校のあり方が求められていると考えられる。

そこで本シンポジウムでは、まずスヌーズレン成立の要件を文献をもとに検討すると共にスヌーズレン教育の定義を行い、特別支援学校ばかりではなく、小学校等の特別支援学級や通級指導教室においても、学びづらさを持つ発達障がいの児童生徒たちにスヌーズレンの授業を導入することで、対象児にどのようなポジティブな変容が見られたのかを授業実践の検討を通じて考察を行い、この教育の有効性と可能性について議論を深めることとしたい。

【話題提供者の趣旨】

1. 「共生社会を目指す通常学校におけるスヌーズレン教育の意義（基調講演）」(姉崎 弘)

通常学校の特別支援学級や通級指導教室には、中度・軽度の障がいのある子どもたちが少なからず在籍しているが、学習面の課題のみならず、対人関係面の困難さや生きづらさも併せ持っている場合が少なくない。こうした子どもたちの自尊感情を高め、自信や生きる意欲を高める「スヌーズレン教育」を定義し、実践からその意義について述べる。

2. 「小学校特別支援学級での自閉スペクトラム症児へのスヌーズレン教育の実践と可能性」(姉崎 弘)

特別支援学級の教室内の1/3のスペースに簡易のスヌーズレンルームを設置し、毎日1時限の最初の15分間、自立活動の指導としてスヌーズレンの授業を実施した。プロジェクターの映像等が特にお気に入り、自分で工夫して鏡や布に映写するなど活動を十分に楽しむことで、担任教師との会話が広がり、視線が合うようになり、その後の机上での国語等の学習に集中しやすくなった事例を紹介する。

3. 「小学校通級指導教室での発達障がい児へのスヌーズレンの授業実践と有効性」(東 法子)

通級による指導を受けている児童にスヌーズレンを自立

活動として実施した。教室内にテントを設置し、ブラックライトと鏡や蛍光の折り紙などを教材として、週に1回行った。児童の感想や教師との対話から指導の前後での気持ちの変容や自分にとってのスヌーズレンの価値を文章表現させた事例を紹介する。通常学級在籍で知的に課題はなく自閉的傾向のある児童や注意欠陥多動症の児童にとってのスヌーズレンの授業の有効性について報告する。

4. 「ブラックライトで光る蛍光蓄光教材の紹介」(甲斐光幸)

暗い部屋でブラックライトを当てると、光る蛍光蓄光トナーを開発した。それを利用した蛍光紙芝居、折り紙、クレヨン、蓄光を利用した光る紙等を写真等で紹介する。

5. 「特別支援学校における軽度知的障がい児へのスヌーズレン教育の有効性と可能性」(藤澤 憲)

心理的に不安になり、自分の思いを表現することが苦手な知的障がい児に対して情緒を安定させることを主な目的として実践を行った。教室内の1/4のスペースにセラピーマット、音楽CD、電球型ミラーボール、ビーズクッション等の安楽な手作りスヌーズレン環境を設置すると、次第に児童は指導者に話しかける機会が増え、その後の音楽や体育等の授業にも落ち着いて取り組めた。事例を通して、スヌーズレン教育の有効性及び可能性について述べる。

【指定討論者の趣旨】

1. (北野真奈美)

スヌーズレン教育を進め、子どもの発達を促すために、どのような刺激を提供するか、どの感覚に焦点を合わせるかなどを、評価の視点を含めて提案し議論を深めたい。

2. (伊達 隆)

スヌーズレン教育を進めていく上で、校内の共通理解、評価の在り方、年間指導計画の立案等、学校として取り組む際の課題となる点を指摘しその取組み方を検討したい。

(文 献)

- 1) 姉崎 弘(2013) わが国におけるスヌーズレン教育の導入の意義と展開. 特殊教育学研究, 51(4), 369-379.
 - 2) Hulssege, Y & Verheul, A. (1987) "Snoezelen-another world." Rompa, UK. 姉崎 弘監訳(2015) 重度知的障がい者のこちよ時間と空間を創るスヌーズレンの世界. 福村出版.
- (ANEZAKI Hiroshi, INOUE Kazuhisa, Higashi Noriko, KAI Mitsuyuki, FUJISAWA Ken, KITANO Manami, DATE Takashi)